

令和3年度 指定管理者施設管理評価シート			部課名	文化産業観光部文化振興課
施設名称	4	東京都台東区立下町風俗資料館	指定管理者	公益財団法人台東区芸術文化財団
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		指定期間	R2.4.1 ~ R7.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 台東区の特長である下町文化の保存、育成、調査研究等を行い、区民文化の振興を図る。
(2)	[所在地] 台東区上野公園2-1 [規模] 延床面積1,071.16㎡ RC造 地上3階地下1階 塔屋 収蔵庫、荷解作業室、燻蒸室、更衣室、機械室、展示室、エントランスホール、だれでもトイレ、休憩室、事務室、図書室、写真室、暗室、エレベータ機械室など
(3)	[委託事業] 下町の歴史、芸術、風俗、産業等に関する実物、標本、模型、文献などの資料の収集、保管、及び展示。施設、付帯設備及び物品の保全・調整、施設内の整理整頓、その他環境整備などの事業。施設使用料徴収などの事業 [自主事業] 施設特別展「開館40周年 移りゆく町の風景 広重の百景から令和の台東区」（12/5から12/25まで） 企画展「生誕」像再設置記念ミニ展示「生誕噴水塔と上野」（7/14から9/13まで）
(4)	[利用者] 全来館者 [利用料金制] <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 開館日：休館日（月曜日／年末年始／特別整理期間等）を除く 開館時間：午前9時30分～午後4時30分（入館は午後4時まで）
(6)	[人員体制] 13名 （内 訳）常勤固有職員(1) 派遣職員(1) 再任用(1) 研究員(1) 会計年度任用職員(2) 専門員(2) 特例嘱託員(5) （前年増減）1名減（特例嘱託員1人減）

2. 予算決算		R元予算	R元決算	R2予算	R2決算
収入	委託料（指定管理料）	18,702,000	18,032,147	19,899,000	15,103,816
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入（ ）	0	0	0	0
	計	18,702,000	18,032,147	19,899,000	15,103,816
支出	人件費	0	0	0	0
	光熱水費	5,208,000	5,207,560	5,429,000	3,627,242
	維持管理費（委託料・賃借料）	9,418,000	9,289,294	10,689,000	9,091,200
	修繕費	874,000	873,730	800,000	249,810
	事業費	0	0	0	0
	その他支出（印刷製本費等）	3,202,000	2,661,563	2,981,000	2,135,564
	計	18,702,000	18,032,147	19,899,000	15,103,816
収支			0		0

3. 活動指標	単位	(目標値)R4年度	H30年度	R元年度	R2年度
開館日数	日	299	304	276	153

4. 成果指標	単位	(目標値)R4年度	H30年度	R元年度	R2年度
入館者数	人	21,350	75,128	66,781	11,423

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況
物販収入確保については、新型コロナウイルス感染防止のための臨時休館実施、入館者数の減少により取組みを実施できていないが、SNSを活用した季節展示の紹介や、動画配信サービスによる昔の遊びの紹介など、コロナ禍に対応した情報発信を行った。また、アンケートを再開し、利用者の声を運営に活かすよう努めた。

6. 評価の観点	
(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	事業計画書・報告書等の作成・提出をはじめ必要な手続きを適切に行うとともに、必要な事項について区と協議しながら、適正な管理体制のもと運営が行われた。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
17 / 20 点	区と連携を図り、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自主事業の中止や施設の臨時休館に対応した。事業計画書に予定された実演事業等は中止となったが、今後映像配信等を活用するなど、実施方法の工夫が必要である。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	備品及び物品の管理は適切に行われた。また施設の修繕については、付設展示場の管理についても区に迅速に連絡し適切な対応を行った。
(4) サービス向上の取り組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取り組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	動画配信で昔の遊びを紹介したり、展示会の様子を公開しコロナ禍における利用者向けサービスに取り組んだ。また、アンケートを再開し、利用者の声を運営に活かすよう努めた。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
17 / 20 点	新型コロナウイルス感染拡大による臨時休館のため、やむを得ず図録やグッズ販売収入は減少したが、展示の規模見直し、資料運搬費の縮減により自主事業の経費節約に努めた。今後は指定管理経費のさらなる縮減が必要である。

(6) 優れた取り組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
3 点	コロナ禍において来館したくてもできない方たちのために動画を作成、WEB上に公開し、アフターコロナにおける入館者増に備えた。

7. 総合評価	
極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (97 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大により、入館者数は大幅に減少したが、コロナ禍において、動画配信サービスを活用した利用者向けサービスに取り組んだ。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大に伴い、予定された自主事業の多くが縮小もしくは中止となってしまった。今後は映像配信等を活用するなど、実施方法の工夫が必要である。</p>